

科目番号	52130	分類	研究	履修者	高度実践助産コース	学年	1-2	
科目名	助産学特別研究 (Research in Midwifery)						1-2	
							配当セスター 通年(2年間)	
担当者	○草間 朋子、今井 秀樹 橋本 美幸、朝澤 恭子 関屋 伸子、平出美栄子 宮崎 文子	区分	助産師プログラム	必修	単位	8	時間数	240
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連		
【概要及び目標】 研究の立案から成果の公表までの一連の研究過程を通して、助産・助産学の発展・進化に寄与する研究能力を育成する。EBPM(エビデンスに基づいた助産実践)が求められている中で、現場で実際に「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」の能力を持った助産師の育成が、助産・助産学の発達に不可欠である。実践現場等の課題を選択し、適切な研究方法を用いて問題解決・改善に結びつく結果を搬出し、結果を公表する一連の研究姿勢を通して、実践現場での研究のあり方・やり方の姿勢を学ぶ。複数の教員の指導のもと、多面的な視点からの研究姿勢を修得する。						1.自律して自然分娩の支援ができる能力		
						2.院内・院外助産システムを担うことができる能力		
						○ 3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力		
						4.周産期の救急時に対応できる能力		
						○ 5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力		
						○ 6.研究・開発能力		
						○ 7.倫理的意思決定能力		
授 業 計 画								
回	内 容						担当教員	
1回	研究課題の選択①関連領域に関する文献検討 ②研究課題の明確化						標記 教員全員	
120回	研究計画書の立案、研究方法(デザイン)の検討							
	研究計画書作成：中間発表							
	倫理審査							
	データ収集と分析							
	結果の考察・評価							
	論文作成							
発表								
公表へ向けて準備								
事前・事後学習	事前学習：担当教員の指導のもとに、1つの研究テーマを掲げ文献検討を十分に行う。 事後学習：担当教員からの指導を生かし復習する。 単位と時間数に応じた学習時間(学生便覧参照)を参考に取り組むこと。							
評価の方法	研究への取り組み姿勢、論文の内容を研究指導教員が判断・評価する。 研究発表会においてプレゼンテーション、ディスカッション等を通して研究審査員が評価を行う。 フィードバックは適宜行う。							
参考図書・資料等	各自で精選して購入 ◎は授業の必携図書ですので、購入していただきます。							
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。							